

技能伝承に取り組む企業の好事例発表及び意見交換会の開催

日 時：平成 28 年 12 月 16 日(金) 14:00～16:00

会 場：神戸市立生田文化会館 1F 第 1 会議室

◆好事例発表

- ・株式会社 黒田製作所 生産技術部 佐々木 英明 様



多品種少量生産でプレス加工、組み立て作業を行う工場現場。効率化な加工を図るために、大手企業のOBを採用して、トップダウンで若年者を中心に技能検定の合格を目標に掲げ、結果的に品質の向上を目指して定時後に技能指導を行った。(参加者は自発的、無給)結果、H28 年度前期は 3 名が合格。合格者は報奨金やベースアップにつながる。また、次の受験者の指導に加わり、技能伝承の輪が広がっている。

◆意見交換

各社各様にものづくりマイスターの実技指導を活用して若手従業員の技能向上を図っている。各参加者の取り組み事例を聴きながら、より綿密に技能伝承を検討していきたい。また、聴講したものづくりマイスターからも、指導現場でのコメントを得ながら、情報を共有していった。

- ・株式会社 井上鉄工所 代表取締役専務 井上 美智代 様



金属加工業 60 年の企業。求人氷河期をチャンスにと、大卒を採用。考え方の基本を学ぶために、マイスターの指導を受け、技能士を目指してチャレンジしている。おかげで、資格取得者も増え、基本技能が向上している。

- ・株式会社 前田精密製作所 取締役会長 前田 武弘 様



小部品、精密品の試作や加工を行う企業。従業員の技能を伸ばすため、検定制度を活用している。社内には仕上げ作業の指導者がいないので、マイスター制度を活用。今年度は 3 名が合格している。

- ・株式会社 竹村製作所 代表取締役 竹村 昇 様



パナソニックの協力工場。中国の実習生を受け入れながら生産を行うが、自分の仕事で手一杯。作業を効率的に行うために、マイスターの指導を受けて若手従業員の教育を行っている。

- ・中村工機 株式会社 取締役総務部長 土田 文加 様



アキュムレーター（圧力容器）を製造する企業。単なるオペレーターの従業員は必要ない。マイスターの指導を受け、技能レベルを上げ、外注に頼った部品を自社で製作するようになった。

- ・株式会社 広築
 経理課長 船岡 一成 様



工業炉の設計・製作・施工を行う企業。技能検定受検を目指して、マイスター制度を活用している。また、新入社員の基本技能習得の為に別途指導を受けている。

◆講評

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構兵庫支部
 兵庫職業能力開発促進センター次長 植園 悦朗 様

各社共々PDC Aを上手に廻し、さらに新入社員を採用していることに感心した。中小企業の強み（精度、技術力）を生かし、2007年問題を端に発した指導者不足はOB人材、ものマイ派遣等で乗り切ってほしい。さらに企業マインドも継承するために、ポリテクの能開セミナーやオーダーメイド研修も活用してほしい。



◆質疑応答



テクニックの習得は速いがマインドの習得が課題。
 →スキルマップの公表、ものマイ等の人柄（人とのつき合い）が重要
 効果的な活用が出来ていることが素晴らしい。基盤技術をしっかりと継承してほしい。